

平成30年度
富山県部会の概要

令和元年 7月18日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
富山県部会

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会（H30.7.5）開催概要

- 今年度第1回目となる**富山県部会を平成30年7月5日（木）に開催**。昨年度の協議会での課題を議論し、本年度の体制・活動予定等について情報を共有した。
- 意見交換では、教育機関より**県外出身者の県内の県内定着の取組**、業界各機関より**富山大学都市・デザイン学科との協力や今後の活動に向けた提案**等があった。
- H30も引続き、**県内産学官の関係者の連携のもと活動を進めていくことで合意**。

開催概要

日時 平成30年7月5日（木）10:00～11:30

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関（順不同）

【行政】北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

会員からの主な発言

- ・ 建設系以外の学生などにも、業界に入りやすくしていく必要がある。
- ・ 測量業は20代、30代が少ない。測量設計の業務内容を知る機会が減少しているため。高校生等にPRが必要。
- ・ 建設関係に対する魅力が上がってきている。今後もPRが必要。
- ・ 現場見学会に参加し、業界に対して魅力を感じている生徒もいる。生徒により多くの情報を与えてほしい。
- ・ 進路の中で、求人に対し送り出す生徒の数が足りないのであれば、方向性を変える必要がある。分析が必要。

開催状況



北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会（H30.7.5）開催概要

建設工業新聞 （ 6 面）
平成30年7月6日(金) 朝刊

産学官の連携で魅力発信

担い手確保・育成推進協議会

県部会開く

建設界の担い手確保対策について県内の建設関係団体や教育機関、行政機関らが一堂に会して話し合う「北陸建設界の担

い手確保・育成推進協議会」富山県部会（部会長・福濱方哉北陸地方整備局富山河川国道事務所長）の会合が5日、同事務所で開かれた。昨年度の活動状況や今年度の活

動計画について情報共有したほか、今後も産学官が連携して取組を進めることを確認した。

冒頭、福濱部会長が「県部会では建設系の学

生のみならず、保護者にも建設界の魅力を理解してもらおうと入職促進の取組を進めてきた。今後も産学官が連携して建設界の魅力を発信し、建設界に対する好印象を醸成したい」とあいさつ。

協議会では、事務局が昨年活動予定を確認した県部会の会合



活動予定を確認した県部会の会合

意見交換では、高校側が進路状況を説明し、「建設業への就職は増えており、担い手確保への取組成果が出ている」、大学側は、「県外の出身学生を県内に定着させる仕組みづくりに取り組み

たい」、行政側は、「建設業の魅力をもっと発信することの方針を示した。富山労働局は、建設業の求人倍率が全産業で最も高いことを報告し、ハローワーク富山に建設・運輸業の専門コーナーを設け、バックアップしていることを説明した。

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会（H30.12.27）開催概要

- 平成30年12月27日に第2回富山県部会を開催し、各機関のH30年度取組状況の報告・次年度の取組・連携協力体制について意見交換を実施した。
- 建設系企業への就職のために、働き方改革の必要性や生徒の進路に影響を与える保護者への取組の充実等の課題があがった。
- 担い手の県内定着に向け、県外からの学生へ富山の魅力を理解してもらうことも重要等の意見が出された。
- 引き続き、産学官の関係機関の連携のもと平成31年度も取組を進めていくことで合意した。

開催概要

日時 平成30年12月27日（木）10:00～11:30

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関（順不同）

【行政】北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

会員からの主な発言

- ・ 県内の求人に対し送り出す生徒の数が不足している。県外出身学生を県内に定着させる施策が必要。
- ・ 生徒への技能講習への参加希望者が多い。生徒が参加しやすい環境の整備が必要。
- ・ 担い手確保、育成のため、産官学共同した働き方改革への取組を実施する必要がある。
- ・ 女性技術者を増やすために、待遇や福利厚生が大事。
- ・ 建設フェアは初の富山開催となるので期待している。

開催状況

部会長挨拶



意見交換状況



北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会（H30.12.27）開催概要

建設工業新聞 (5 面)
平成30年12月28日(金) 朝刊

『建設業界 担い手確保の取り組み』に関する報道
局 名 KNB（日本テレビ系列）
日 時 平成30年12月27日（木）15：50（約1分）



の魅力を理解してもらおうと、様々な取り組みを進めてきた上で、
「産学官連携のもと、建設界の持つ魅力を発信していくことで好印象を醸成し、担い手不足に対応していきたい」との考えを示した。議事では、各団体・機関から今年度の活動と19年度の活動予定が示された。

19年度も建設系高校での講座や見学会、県内の大学での連続講座、高校

生や大学・専門学校生のインターシップなどを通じて、生徒が「世の中にこんな仕事があるんだ」と認識する機会になった」などの感想があった。



(ナレーション)

人手不足に悩む建設業界の担い手を確保しようと、富山市で今日、関係機関による協議会が開かれ、企業と学生の意見交換などの取り組みが報告されました。



(ナレーション)

この「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」は、建設業界で、若者の就職の減少などにより人手不足が進む中、担い手確保に連携して取り組もうと、2014年に建設関係団体や教育機関、行政機関で設けました。



(ナレーション)

今日は、各団体が学生などを対象に行った現場見学や出前講座など今年度の活動を報告しました。

なかでは、就職先に建設業を選ばない理由について企業側と学生が意見交換したことや、女子学生と女性技術者が交流した際、賃金格差や福利厚生を気にしていたことなどが報告されました。



(ナレーション)

協議会は、来年度も連携して取り組みを行うことを確認しました。